



夏の間、プールだけでなく生き物とのふれあいも盛んでした！生き物が好きな子は捕まえたり触れたりすることはもちろん楽しんでいますが、中には生き物が苦手な子もいます。それでも、クラスの中に生き物コーナーがあると、自然とその子たちなりに「見る」経験をするんです。そして「うわ～やっぱり無理～」「触れやん～」となったり、「ちょっと触ってみよかな…」「持ってみよかな…」となったり(笑)ホント不思議…友達が持っている自分も持てるかも？持ってみようかな！と思うんですよね～。もちろん、頑なに触りたくない！でもOK。

幼虫→さなぎ→成虫
虫の変化が見れま
したー!!



興味
津々!!

ぱんだに合計何匹
いたんだろう...
カブトムシ&クワガタは
10匹ぐらいいけはす。
きりんぐみ&ぞうぐみ
にも、おすわけしました。



出会いと別れ その1



毎日毎日、飽きることなく、触
たり、たしかわせたりしていました(笑)



「死んでしまったらどうする？」の質
問に「うめたる！」ということど
お墓を作ってみました。「お空
で元気に遊ばすように…」と保
育者がつるやくと、お墓に拜む子も多



触るの大好きなお子も、ドキ
ドキしながら触った子も「生き物に
触れる経験をして、「そーと」触るこ
と、加減をすることを覚えてい
きます。

*おすわけしたぞうぐみのカブトムシは、
産卵したそうです①卵が「かえって」小
さな幼虫がうまれたそうですよー!!





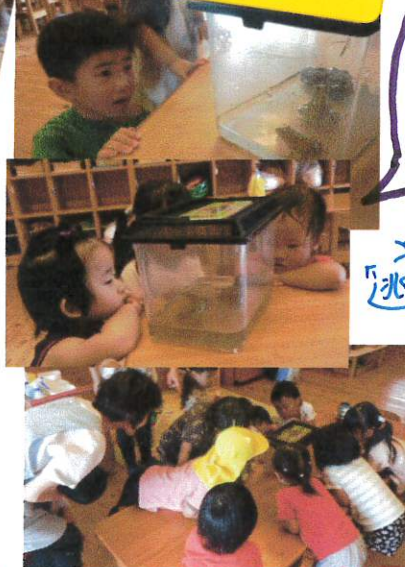
フていますが、つかんでいます(笑)

出会いと別れ その2

クラスでカエルを飼っていたのは
くん!!

バッタをパクッと食べたり、コオロギを
パクッと食べたりする貴重な瞬間も
見ることができて、まさに弱肉強食...
自然の摂理を身近に感じることが
できました。

突如、クラスに
やってきたトノサマガエル3匹。
大きさもなかなかのサイズで、子ども
たちは興味津々!! 図鑑でバッタ
や蝶々を食べると知ったら、暑くても
登園後、戸外へエサ探しへ。



鼻の頭が黒ずんできたカエルたち。
「逃がしてあげる」ということで
お別れしました。
生態系が変化してしまわないように元いた
場所(谷家の庭)に
放しました。



生き物とふれあうことで...

好奇心 感受性 命の不思議さ・大切さ 協調性
達成感 社会性 いろいろなものが育っています



「セミが鳴いている!」と
引き寄せられるように、園
舎裏の小さな庭へ。
「セミの穴!」「ぬけがら!」
を見つけたあと、無事にGET!
セミの命が短いこと、エサがない
ことを伝えると、その日のうちに
逃がすことを決めた子どもたちです。

出会いと別れ その3

※またまた長文トキメキ、失礼しました

土の中じゃないので、この卵
は育たないかもしれません。



そして、先日捕まえ
たショウリョウバッタ。その日は土を入れ
られなかったので、次
の日入れようと思って
いたら...翌朝、まさか
の産卵! 子どもたちは
「うんちがある!」
「きたなっ!」など言
っていましたが、卵と
いうことを伝えると、
「捨てたらいいかん」
「大事にせな」との発
言が。生き物の命が大
切なこと、少しずつ感
じてくれているのかな
〜???